



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

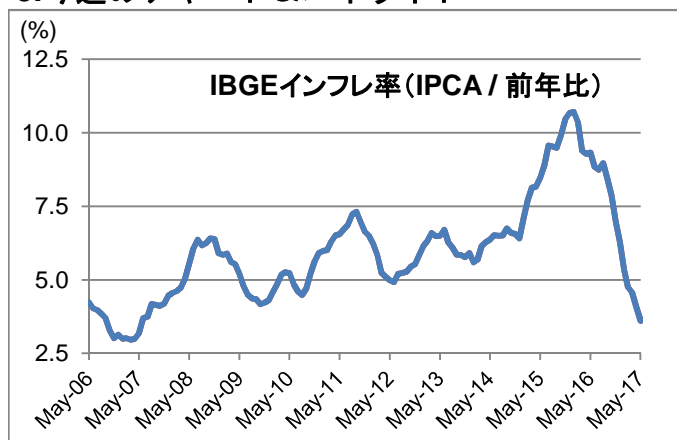
			6月5日	6月6日	6月7日	6月8日	6月9日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2970	3.2780	3.2700	3.2620	3.2970	+0.0350
	BRL/JPY	Spot	33.51	33.37	33.59	33.70	33.47	-0.23
	EUR/USD	Spot	1.1256	1.1277	1.1265	1.1228	1.1195	-0.0033
	USD/JPY	Spot	110.47	109.39	109.83	109.81	110.32	+0.51
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	9.49	9.38	9.38	9.37	9.26	-0.1105
	Future	1Year(p.a.)	9.37	9.20	9.23	9.22	9.07	-0.1533
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.107	2.132	2.151	2.169	2.176	+0.007
	USD	1Year(p.a.)	2.315	2.321	2.338	2.355	2.393	+0.038
株式	Bovespa指数		62,450.45	62,954.69	63,170.73	62,755.57	62,210.56	-545.01
CDS	CDS Brazil 5y		237.97	237.41	239.10	236.90	237.12	+0.21
商品	CRB指数		177.296	178.077	175.611	176.098	176.76	+0.667

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは選挙高等裁判所の審理が続くなかレンジ内での取引が継続。
- 週初のレアルは3.2500で寄り付いた。週末にテメル大統領の側近だった下院議員が収賄の容疑で逮捕され、選挙を巡る裁判において2014年大統領選に関わる不正資金疑惑の審理が始まるのを前に、新たな悪材料への警戒感からレアルは3.29台へ下落。その後、伯中銀のドル売りスワップポジションのロールオーバー再開を好感し、3.27台へ買戻された。週後半にかけては裁判の行方を睨みつつ3.26から3.29の間で方向感の無い動きとなり、結果が判明しない中、不透明感が嫌気されたレアルは引けにかけて売られ、3.2970で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.49%から0.50%へ小幅上方修正されたが、2018年は2.48%から2.40%へ下方修正された。インフレ率予想は2017年が3.95%から3.90%へ下方修正された一方、2018年は4.40%で据え置き。為替レートは2017年末が3.25から3.30へ、2018年末は3.37から3.40へレアル安方向に修正された。
- 伯中銀は6日からドル売りスワップポジションのロールオーバーを再開した。金額は1日あたり4.1億ドル相当。このペースが続けば今月末に期日を迎える69.4億ドルのポジションは全てロールオーバーされ、期日到来に伴うドルの買い戻しは発生しない。今年1月以降、伯中銀によるロールオーバーは月の中旬から再開されていたが、今月は早いタイミングでの入札再開となった。相場急変時には介入を行う準備があることを示したものと見られる。
- 6日朝に先週開催されたCOPOM議事録が公表された。将来の金融政策にかかる不確実性を低減させるため、フォワードガイダンスとして次回会合での利下げ幅縮小を声明文で明確にしたことが確認されたが、レアル相場への影響は限定的だった。
- 9日引け後、選挙裁判所はテメル大統領の無罪判決を賛成4票、反対3票で可決。汚職捜査による起訴の可能性は残るものの、テメル大統領が任期を全うする可能性が高まった。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



## 5月の伯インフレ率は約10年ぶりの水準へ低下

6日発表の5月伯インフレ率(IPCA)は前年比+3.60%と市場予想の+3.76%を下回った。食品や航空運賃などの分野でインフレ率の低下が見られた。伯中銀によるアナリスト予想集計では2017年末の予想が4%を切っており、伯中銀がターゲットとする4.5%を下回る。金融緩和を強くサポートする内容だが、前回COPOMでは政局混乱を受けた改革進展の不確かさを指摘し、次回会合(7月25、26日)での利下げ幅縮小が示唆された。市場もそれを織り込んでいるが、次回会合までまだ1ヶ月半を残す中、インフレや政局を受けた中銀の動向には注意を要する。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

## 4. 来週の為替市場注目点

## 予想ドル・レアル相場レンジ：3.25－3.35

来週のレアルは軟調な動きを予想する。選挙裁判所がテメル大統領に対して無罪の判決を出したことで、議会からの支持が弱まったテメル政権の継続が決定。汚職捜査による起訴の可能性は残っているものの年金改革進展に対する期待感低下は避けられず、レアルは弱含みに推移するものと見込む。  
米国サイドでは14日にFOMCの結果が発表予定。市場は0.25%の利上げを既に織り込んでいる。

## 5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	-0.05%	-0.10%	0.11%
ブラジル	IGP-M Inflation 1st Preview	-0.31%	-0.51%	-0.89%
ブラジル	IBGEインフIPCA(前月比)	0.47%	0.31%	0.14%
ブラジル	IBGEインフ率IPCA(前年比)	3.76%	3.60%	4.08%
米	卸売在庫(前月比)	-0.3%	-0.5%	-0.3%
米	卸売売上高(前月比)	0.2%	-0.4%	0.0%

## 6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	6/12	税收	May	100000m	118047m
ブラジル	6/13	小売売上高(前月比)	Apr	-0.6%	-1.9%
ブラジル	6/13	広義小売売上高(前月比)	Apr	0.2%	-2.0%
米	6/13	PPI 最終需要(前月比)	May	0.0%	0.5%
ブラジル	6/14	FGVインフ率IGP-10(前月比)	Jun	-0.46%	-1.10%
ブラジル	6/14	IBGEサピス部門売上高 前年比	Apr	-6.0%	-5.0%
米	6/14	消費者物価指数(前月比)	May	0.0%	0.2%
米	6/14	小売売上高速報(前月比)	May	0.1%	0.4%
米	6/14	FOMC政策金利(上限)	jun/14	1.25%	1.00%
ブラジル	6/15	経済活動(前月比)	Apr	0.30%	-0.44%
米	6/15	ニューヨーク連銀製造業景気指数	Jun	5.0	-1.0
米	6/15	フィラデルフィア連銀景況	Jun	25.0	38.8
米	6/15	鉱工業生産(前月比)	May	0.2%	1.0%
米	6/16	住宅着工件数	May	1218k	1172k
米	6/16	ミシガン大学消費者マインド	Jun	97.1	97.1

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。